

6月12日に厚生委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

● 新総社市一般廃棄物最終処分場の進捗状況について ●

～内容～

平成24年度に基本設計、地質調査、地形測量業務を完了し、現在、生活環境影響調査業務を実施中の新 総社市一般廃棄物最終処分場の進捗状況について調査した。

【今後の予定】

平成25年度 処分場建設の実設計・用地測量・用地買収及び用材木の補償

平成26年度～平成27年度 造成工事及び水処理施設の建設工事に着手

平成28年4月1日 供用開始予定

～質疑～

問：環境アセスメント調査は必ず実施するのか。

答：廃棄物の処理施設は、全て行わなければならないという規定になっている。

問：良い施設を安い経費で完成させるような方法を考えているのか。

答：研究して、できるだけ安くできるように頑張っていきたい。

● 子ども・子育て支援新制度について ●

～内容～

消費税を財源とし、より子どもを産み育てやすい環境を作ることを目指した「子ども・子育て関連3法」に基づく今後の体制について調査した。

～質疑～

問：幼保一体がなかなか総社市では進まなかった。進まなかった理由がいろいろあったとしても、今回の制度改革によって、明らかに進むというふうに考えてよいか。

答：幼稚園と保育園の施設を一体化させるということで、両者の願いが一致しなければなかなか難しい。教育委員会とも十分な協議を図っていきたい。

問：待機児童解消の方法として放課後児童クラブというのは違和感があるが、放課後児童クラブで一番の問題は、指導員の処遇が悪いということである。処遇改善を含めた運営設置基準にしてほしい。

答：国が運営基準を示し、それをもとに市が条例で決めていくという形になる。まだ国から示されていないので詳細は分からない。指導員の処遇についても、国から一定の処遇改善の話があれば、市の方でも応えていきたいと思う。現状では今国からの情報提供を待っている。

問：延長保育、病児保育も含めて保育所に通っている子ども1人当たり年間68

万円ぐらい税金使っている計算になる。幼稚園に行くまでの間、自宅で子育てをしている人は税金を使っていない。自宅で子育てをしている人に月2万円、年間24万円支給している自治体もある。保育所に預けて税金を使うよりは、その方が安いからということで、預けていた人も預けなくなり、自宅で子育てをする母親を増やし、子育ての研修を行ったり、子育て相談を受けたりとか、お金のかからないことも進めていくべきではないか。

また、母親が働いていなくても、夜勤の父親を昼間休ませてあげたいので子どもを保育所に預けてもいいというような総社市版の保育を考えてもいいのではないか。

答：ニーズも踏まえて、どういう事業が必要かというものを考えていかなければならない。

問：障がい児に対する対応というのは、どういうふうに考えているのか。

答：この地域子ども・子育て支援事業の中に、要保護あるいは要支援の児童に対する事業というものが含まれているが、どういう事業が入るかというのは国の方で検討中である。

できれば、障がい児のお子さん一人一人のケアやプロフィールのようなものをまとめたファイルを作って、小学校、幼稚園、保育所で共有をして、お子さんがどの施設からどの小学校に上がった場合にも、個別の特性に基づいたケアができるような総社流の仕組みが作れないかということは今後検討したい。

● そうじゃ吉備路マラソンについて ●

～内容～

昨年度まで、そうじゃ吉備路マラソンは総務文教委員会の所管であったが、本年度からそうじゃ吉備路マラソン推進室が市民環境部へ設置され、厚生委員会の所管になったため、そうじゃ吉備路マラソンの現状について調査した。

～質疑～

問：第1給水所の所をフルマラソンの人は3回通る。同じ所を3回も通るのは楽しくないのではないか。また、2回目のときに、ハーフの人と交錯している。改善はできないか。

答：フルマラソンの選手が3回通る所は確かある。非常におもしろくないと思う。しかしながら、コース設定に一番大きな影響を与えるのは警備上の問題で、現在ではいたし方ない状況である。新総社大橋ができたなら、総社市内で1回通るだけのコース設定がしたいというのが今のところの考えである。平成27年度が新総社大橋の開通であり本年度と来年度は恐らくこの形態でやらせていただければいけないのではないかと思う。

フルの2回目とハーフが交錯する件については、今の現段階では、ボランティアの皆さんの協力と必要な物品を増やすという形で対応せざるを得ないかと思っている。

問：トイレの数と設置場所を是非考えていただきたい。

答：トイレの数，設置場所については，そうじゃ吉備路マラソンだけではなく，東京マラソンでも生じているようだ。トイレというのは，ランナーが走る前にはものすごいんだと。不安で，不安でたまらないから，みんな行くんだということで，まず会場に足りないということを言われていた。会場内，コース内へのトイレの設置もあわせて考えていくつもりだ。

問：給水所に置いてあるパンのパッケージにフルマラソンの特別な印刷がしてあるが，パンはみんなそこで破って，見る間もなく捨てる。もし，マラソンの会計から印刷経費を支払っているなら要らない。無地でよい。パンも必要量が足りていない。予算の給水所飲食物 300 万円の内訳はどうなっているのか。

答：パンのパッケージに経費がかかったのかどうかこの場では分からない。もし経費がかかっているようでしたら，これは必要ないかなというふうに今は考えている。

問：ボランティアで出ている人は，当日最後にお弁当とお茶をいただいて帰る。ありがたいことだが，なくてもいいかなという気がする。

答：会場周辺のボランティアは，朝6時半から3時ぐらいまでかかるので，お礼という意味もある。また，午前中で終わる人や会場外の持ち場になった人は弁当はないよというの，こちらもなかなか言いづらい部分があるので，一律でさせていただいている。

問：ボランティアの待遇がまだまだ悪いと思う。東京マラソンを例に出して悪いが，大きなスポンサーがついて，ロゴの入ったジャンパー提供してもらっている。将来的に2万人規模になれば，スポンサーを募集して，ロゴも入れたジャンパーなど提供してもらえばボランティアにもっともっと進んで参加してもらえそうな状況を作る必要が来ると思う。

参加してくれたボランティアの人は，住所と名前は分かっているのだから，お礼状の一枚でも出していただいたら，ボランティアした人はすごく喜ばれるのではないかと思う。

答：東京マラソンや先日協定を結びました仙台国際ハーフマラソンはすばらしいジャンパーを作っている。エリートマラソンであるために，テレビ放映とかがあり，かなりスポンサーが集まってくるという力を持っている。

そうじゃ吉備路マラソンも，推進室ができた限りには，偉そうにはまだ言えないがランナーを増やすことと金を取ってくることも使命だというふうに思っている。

しかしながら，スポンサーになっていただく企業側のメリットが，今のところなかなか正直見つからない。「私が社長だったらどうか」と考えているが，どういう宣伝

ができるのか、現実問題として考えなければいけない。難しい問題だと思っている。
ボランティアの皆さんには、お礼状は出している。

問：去年は、記念品引渡しのボランティアをした。記念品のタオルの発注数を参加申し込みの8割程度と見込んでいたとことで記念品が不足した。渡せなかった人の住所と名前を書いていたいただき大変だった。今年はどうだったのか。

また、本当は引換券を失くした方には記念品はお渡しできないが、「紛失した」と言って受け取りに来る人がいた。顔を覚えていた人がいて、嘘だとわかった人が何人もいた。少し嚴重にやった方がいいのではないか。

答：この度2013大会で記念品が足らなかったという実情はなかった。

引換えについての不正等をどのようにするかは非常に難しいところもある。対応は、考えてみる。

問：貴重品預かり所収入について説明をお願いしたい。

答：1回300円で貴重品預かりを武道館の前でやっている。

問：スタート時点で、やはり1秒、2秒のタイムを争う人がたくさんおられる。用意、ドンで、10列目になる人も、8列目になる人も、一番最初に出る人とは十何秒も違う。その人が前へ行こうと思うと押しのけて行く。そこが一番危ない。大きなマラソンは、経費はかかるが、スタートゲートをくぐったところからのタイムが出るようになってきているので、慌ててスタートしなくてもいい。それが、総社についてはなかったが、今はついているのか。

答：チップが通過の時点か用意、ドンの時かということについては、今は用意、ドンの合図で計測が始まっている。タイムラグは、スタート地点で出てくるという。

今現在は目標タイムによって、目標タイム順に、前からできるだけ並べている。御意見のとおり、目標タイムを持ってないが、頑張りたい方もいらっしゃると思うので、予算の範囲内で考えさせてください。

問：トイレについては、日本中のマラソンへ参加している人からのお話では、コース上のお店、コンビニ、民家へ前もって市の方が協力をお願いに行っており、協力してくださる人がたくさんおられ、家の前に「トイレどうぞ使ってください」の看板を立ててくれているところが何カ所もあるらしい。コンビニは通常でもトイレは借りることができるが、看板があればもっと借り易い。このようなお願いも必要かなと思うがどうか。

答：民間の方への御協力という部分については、今現在は、店舗等には通行止めの御協力をお願いには伺っており協力は得られている。しかしながら、トイレを貸してくれとまではまだ言っていないので参考にさせていただきたい。

問：記念品は従来タオルだが、総社の名産、農産物等に変えるという検討はできないものか。これは、市民の声でもある。

答：記念品については、様々な声が出ます。勉強を今やっているところなので、今日ここでお返事はできない。